



佛鬼軍

八 4  
3137





佛  
鬼  
軍

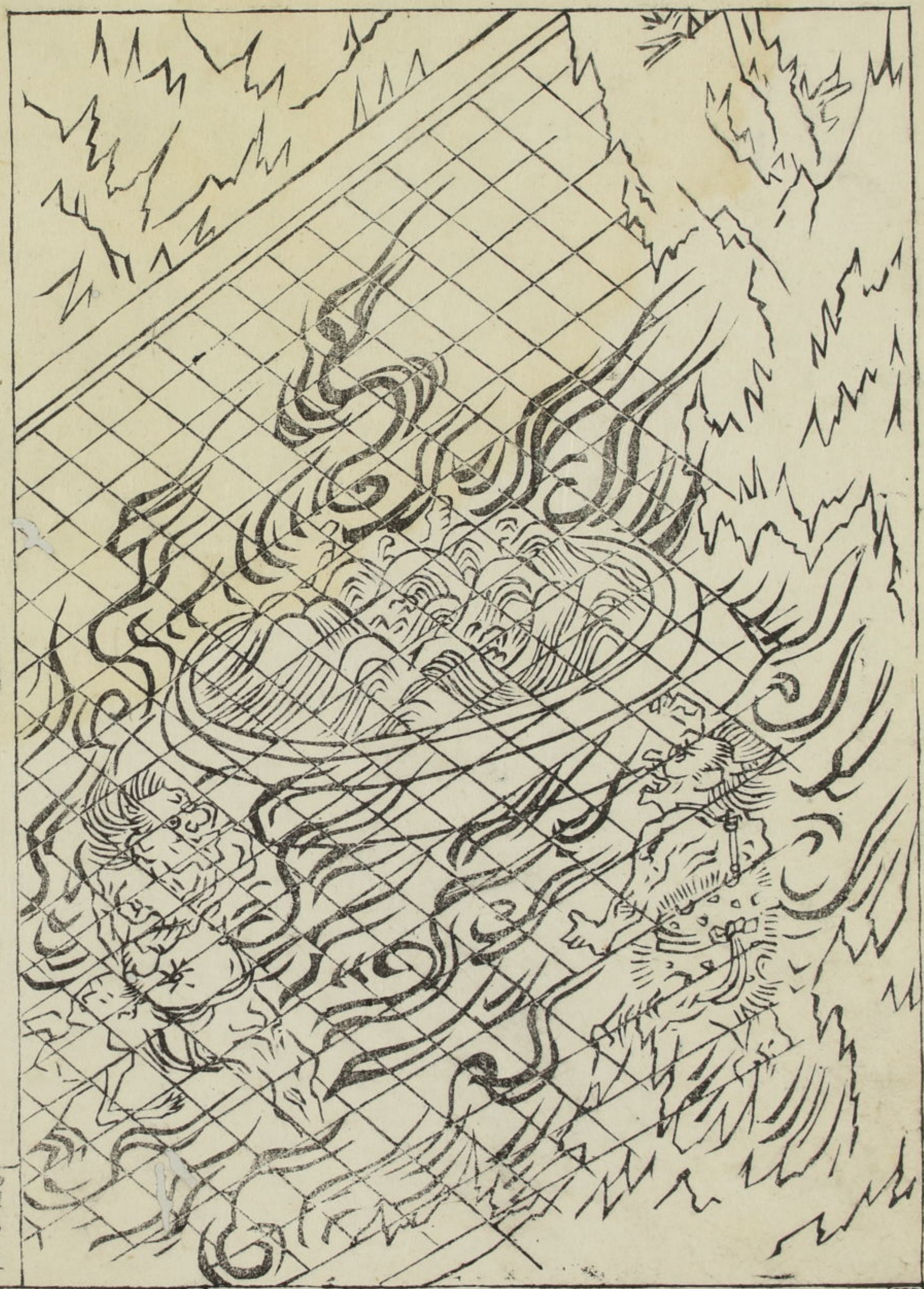


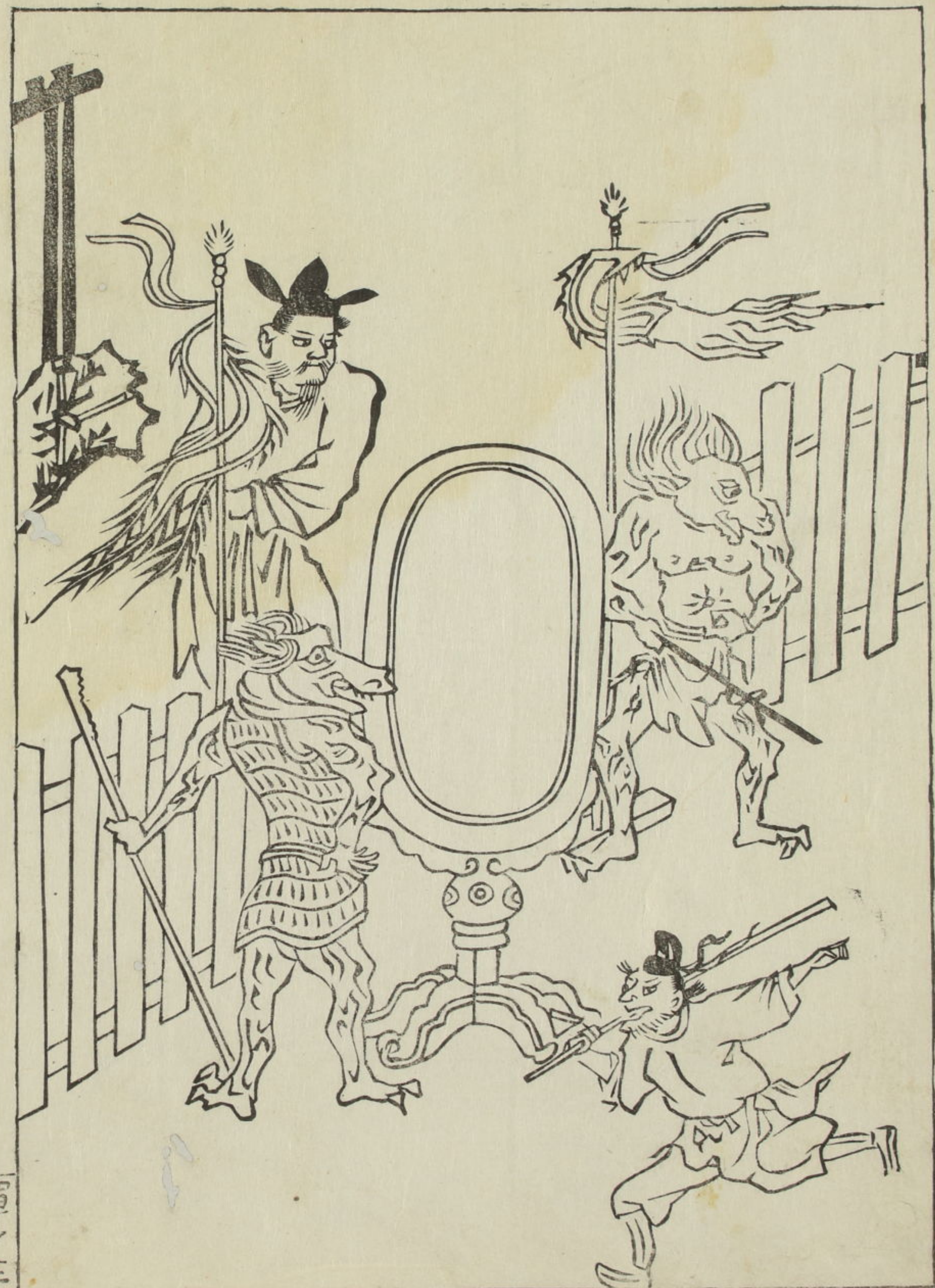
萩野藏

門 八 十  
流 3137  
卷

早稲田大學圖書館  
25.9.27  
購 入 券









極樂に丁々に我をもて物具どもへ志て  
 其をくべりたりやおまほつる九品蓮  
 甚れ大名高家これくぞ等覚山乃観音  
 九条門蓮花野乃指至太郎 撞笛此薬  
 王兵衛笠笛此薬上武志 懺悔の里此音  
 賢殿琴上手此自多五郎 三賢者此師子  
 孔十郎同き院死屋三郎 能満福智の  
 虚空藏冠名 歡喜地の徳元子同事よ

法苑別傳又金剛藏大光明如來  
寶平内指紫の心海惠大刀花華嚴王大  
兼月光王小乘此日照日逸日尾の定自  
立一番かゝる三昧王ひてやうれ大自在王  
人高千の白馬王赤地の大威徳とるぐり  
れを色身かくのごとくれ廿五の菩薩一人  
志く九億万恒河沙此郎等法并供て  
衆地るこれと也此衆とよとす人もあり

蓮臺は鞅折くまわり或は馬の龍或は師子  
或は大馬も衆地をとりけおよ生死乃大海  
は龍摺の舟うして十万余艘までを指船  
舟一艘の大きさをそのよりへよいそらま  
て半万里也一日は九十里とあゆむ程の長  
と一日もやとす八十一年ぐらり約ハそよ  
よりへよハ約つきめぬ日本國ハ東西二  
千八百七十里南ハ五百廿七里と云るや舟

一獲の坊と案する日本國百千ありつめきり  
空しくあふ魚すすかゆ身し案の成と地  
十万余獲とあまききは極末乃案の  
り内の坊也極末と案の成とのるは大國  
十方億あり國ごとくはあまききして勇頭は  
はきて一人とさぶまらす坊あまききし  
く霞のごとく少くもはひそあひき  
大將軍乃阿施陀佛を青董赤白は

錦のふりひりしれは相好飛散の小平  
とり大慈大悲乃御曹は三力即一のなる  
あうらて八万二千の白星の甲は四十八  
さうそらやまひは僧祇劫ゆる功德  
の志すそらめゆる妙觀察智乃備さ  
く青蓮乃あけり一なりぐえれ光  
的魚照十方世界もあまききかゆ大  
将ともあつてあひやうなる郎木一人も



佛化衆聖船誓弘陀赫



勢至菩薩



此の十五日と昔月にはこの地  
花菩薩とてく毎月晨朝入定の  
わがのふとせりしを

觀音菩薩



地藏菩薩

東方より薬師如来が掌持して来りて  
 あり八月の吉日也是のまへに此の  
 勢より西方極楽よむに候とのんく廿五日  
 是の薬師は同座して酒造へぞと評定  
 する所の佛七俱照きて座給へる月光  
 菩薩月光菩薩とくどりて前後よ  
 り候へる十二神木の一の郎木八万四  
 千騎也伊王善逝乃の住よ云日記とひふと

とらりこしけく志く合戦とらしむる勝  
幸百よ一とありまらば薬師經の日記  
よ由也真言儀軌とちく考るる也  
よ云十二神物あり重代の武志  
也夜盡ののれとらす月ひまびく  
きやうとく教原いそれくそ宮毗羅大将  
伐折羅大将迷仏羅くく安底羅くく  
頻伽羅くく珊底羅くく目達羅くく

波夷羅くく摩席羅くく真達羅くく  
招杜羅くく毗羯羅くく時分法よりく  
辰の時れ大拍ハ龍の及と甲よきる一志む  
の時乃大拍ハ己の及と甲よきそ次第くよ  
時分法よりく一その佛菩薩ハの  
見下魚うず或ハ蓮花と拍或ハ寶珠と  
ゆら或ハ下と結或ハ合掌とくひら下  
拍の物りる魚うずそ故ハ我力とて佛有







と事第一は意根也五百の大教も衆生  
れをめ也我一人かりと地獄に打令罪  
業乃るの一金二金なりともうをひて  
浄土へむくはとせそくま向く人も  
かる官兵にかりて本意をと多人事  
も悦ゆ所也申天竺摩迦陀國靈山  
淨土ありとむねの法花經の過去現在未  
來に日向果の賢聖住日向地の菩薩人天

大會一人をのれきりる本迹二門涌出れ喜  
薩もてとおまかり復將軍大聖文殊ハ師  
子王よをそおしりく清涼山より門あせさ也  
法一の家れ子れ一万余文殊師と核心一と打  
平とらり下り大聖老人佛陀皮梨三藏お  
ひまきりてかくなりりる優團大王ハ  
さしと也普賢菩薩ハ白鳥王よとて  
りる二聖二天十羅刹と郎等よ打供

一ては花經中乃路（一）又と（二）佛道（三）より乃路（四）跡（五）  
勒大聖（六）補處（七）薩埵（八）四十九重（九）此（十）摩屈（十一）殿都（十二）  
寧（十三）此（十四）内院（十五）乃八万四千（十六）此（十七）天衆（十八）と（十九）耶木（二十）  
赤（二十一）乃て（二十二）じ（二十三）ひ（二十四）乃り（二十五）惣（二十六）て（二十七）ハ（二十八）三（二十九）乃所（三十）有（三十一）  
此（三十二）天王（三十三）天衆（三十四）一人（三十五）と（三十六）乃れ（三十七）ハ（三十八）乃（三十九）友（四十）乃り（四十一）  
乃（四十二）尺（四十三）提（四十四）桓（四十五）回（四十六）二万（四十七）天子（四十八）吾（四十九）現（五十）城（五十一）と（五十二）乃（五十三）出（五十四）  
く（五十五）乃（五十六）光（五十七）天子（五十八）乃（五十九）大（六十）王（六十一）持（六十二）雙（六十三）乃（六十四）是（六十五）乃（六十六）乃（六十七）乃（六十八）  
ひ（六十九）乃（七十）乃（七十一）乃（七十二）乃（七十三）乃（七十四）乃（七十五）乃（七十六）乃（七十七）乃（七十八）乃（七十九）乃（八十）乃（八十一）乃（八十二）乃（八十三）乃（八十四）乃（八十五）乃（八十六）乃（八十七）乃（八十八）乃（八十九）乃（九十）乃（九十一）乃（九十二）乃（九十三）乃（九十四）乃（九十五）乃（九十六）乃（九十七）乃（九十八）乃（九十九）乃（一百）

也（一）乃六（二）天（三）の（四）魔（五）王（六）と（七）乃（八）乃（九）乃（十）乃（十一）乃（十二）乃（十三）乃（十四）乃（十五）乃（十六）乃（十七）乃（十八）乃（十九）乃（二十）乃（二十一）乃（二十二）乃（二十三）乃（二十四）乃（二十五）乃（二十六）乃（二十七）乃（二十八）乃（二十九）乃（三十）乃（三十一）乃（三十二）乃（三十三）乃（三十四）乃（三十五）乃（三十六）乃（三十七）乃（三十八）乃（三十九）乃（四十）乃（四十一）乃（四十二）乃（四十三）乃（四十四）乃（四十五）乃（四十六）乃（四十七）乃（四十八）乃（四十九）乃（五十）乃（五十一）乃（五十二）乃（五十三）乃（五十四）乃（五十五）乃（五十六）乃（五十七）乃（五十八）乃（五十九）乃（六十）乃（六十一）乃（六十二）乃（六十三）乃（六十四）乃（六十五）乃（六十六）乃（六十七）乃（六十八）乃（六十九）乃（七十）乃（七十一）乃（七十二）乃（七十三）乃（七十四）乃（七十五）乃（七十六）乃（七十七）乃（七十八）乃（七十九）乃（八十）乃（八十一）乃（八十二）乃（八十三）乃（八十四）乃（八十五）乃（八十六）乃（八十七）乃（八十八）乃（八十九）乃（九十）乃（九十一）乃（九十二）乃（九十三）乃（九十四）乃（九十五）乃（九十六）乃（九十七）乃（九十八）乃（九十九）乃（一百）





第六天魔王



釋迦如來

五百羅漢

百八十四騎ひやくはつじゅうよんきまてそかけりてまてそかけりて假いつはり便べん遍へん法ぽう界がい  
 新あらた善ぜん諸しよ衆しゆ生じやう一いつ聞もん法ぽう華わ經きやう決けつ定てい成じやう菩ぼ提だいと  
 時ときととりりててとと也や由ゆととりり

南方室性如来



普賢菩薩



文殊菩薩



南方と云ふや帝と云ふ佛大おれ宣うけく  
 雲終りきりし佛ハを少とすおれん  
 ときこころなる世志やあしとけしを  
 即ち眷属を此佛ハ徳人にてをけハ  
 物を向うり如意寶珠と珠と平等性  
 智れかこよひれて弓矢おれしけし玉と  
 りては少て折すくを獄障にハよき由  
 け志とて楊柳ハははぬや来りくろ无碍

て身如やぬれあり志きく如意寶珠  
と珠もれは宝珠又を友恒河沙れ  
ととゆく多如まのちの海く見くは  
よ一番れ上踏よ地故やりの海あり  
せありゆき有り火初る種にときくひん  
獄草れ備れれくはく人一年れ佛  
ハ正直乃地やも六えり事一人也  
元生かりり欲の海く自果自得果乃恩

法の丈矢う守り結とて一人乃阿防死  
淨飯梨れ統とこをそよ乳く十五東か  
なきハせうて救をれハ西方れ復將軍觀  
音尤も恐辱乃甲れらうハカ  
十方億れ國とるく極末乃東門のらる救  
よかせきよそ射とてやる新主乃菩薩ハ  
舌とゆりて人中へそに字入らる  
六觀音大將と毗樓勒又毗樓博又等れ

廿八部衆名千午經のこゝくハ一人して五百  
の眷属レ之カレ夜叉と打多して大定智  
悲レ弓よ弘檜深如海乃り少矢とらへん  
見多位よ少子母をくら目よ見喜に  
と少人ト悲代受苦レ大聖母衆生界  
とすこひはくさしハ正覺とさしヤ思ま  
りなる覆將軍あり平なとの程ハそしハ  
見多くして矢の承ハハ十由善那こひら

まろの程よ引くして救をれを八大地獄と  
一に村と行く無間地獄のかる人のかせ  
まにほりあまそ地獄とをくおあげら  
城レ上ハ西方へおもひけよ苑上をり罪  
業乃ちのこにまのめとれしとて落よけり  
これと見く阿防羅刹と矢と記よかり  
とぐりあまそさいよけり

東乃平にハ日光菩薩月光菩薩小抄

とて十二神将鼻とあへてお平氏とあへ  
て二乃木戸口とあおやうりて三途河乃  
らまてせりせりわよハおを号へん  
おのり多自由旬れはらぎれ見孫るく  
さう鏝れ湯とわくて瀧水れくくにそ  
流しける普賢菩薩文殊法華經と  
才にまらぬおひきりてをかろしける平  
等一味乃あさうそ坂鏝れ湯もさめにけ

軍ノ大

ア大よ身と現て自由旬れはらぎれ  
と平に入く吹れハちうもひよらけて  
青蓮花乃種とあけらるる志と獄  
率阿附赤心とあさうとあひ見おくせき  
とひる南乃平ハ如意寶珠とあてに  
とあ打たれハ死割の甲れ絆ハさけよせ  
あけそりく七日七夜合戦らるる  
いよ勝負をうりけるいよく地獄乃あよ

勢はまてまはるる事さうにや



六観音



月光菩薩

月光菩薩

重く大

大日心王は中まきりりく密嚴國をよ  
り大勢とそほりりりきる金剛界といぬ里  
り十三九會の七百余尊胎藏界と云部り  
三部四重乃五百余尊と打出づ給へり虚空  
より大聖之悲不動明王とせりけり西方  
より大威徳明王とせ給北本といハ金剛夜叉  
明王といぬ給下りい也まはくせりとおとと  
まげり也打とと降伏志ける眾業と功

徳也此のひらく見上に於下より上下二  
傳同時俱有と一やもるこれ心也經云無  
明住地其力最大佛菩提智之所能新と  
以上火東院は焼くく炎魔王宮とあり  
く煥とをみくさけくも時冥宮冥衆阿  
防羅刹と心なりてわづいさ  
どもぐりけるかんとらる佛法結縁乃相  
よ和もあつと地獄なとくをらゆどかひ

軍ノサニ

事れと急乃末ありとぞいさひける志  
つせとよかかんと追捕しと十方淨土を引  
柄しける阿防羅刹とありとらへて  
らへとありとて佛子なり冥宮冥  
衆はすことかんとて毘曇院羅の雲流小  
引上名て等流法と地獄は淨土なり  
けく地より引字とて記てかちと八葉  
蓮花子作より中台より大日心王此都と



立り東方とハ藥師領一後り南  
方ハ寶生領一後西方と阿彌陀申請  
如北方ハ尺迦王にき如巴爾とハ普賢  
文殊觀音旃勒知行一如り是を如一  
性此會尺也說者皆同大毗盧遮那佛分  
と尺一て大日心王此都也統らハ多百由  
旬此方のハ佛乃万徳とハ尺に如り如刀  
心とハ如ハ妙覺心也鐵の湯也ハ如ハ

功德水ありきり是とハ五智此都とせ  
此をハ如地獄と作とハ尺ハ如りけ  
法相宗ハ如繩起地覺と尺一繩と地  
と果ハ如と一ハ如と一ハ繩と尺ハ  
法也ハ如と一ハ地獄ハ如と一ハ如ハ  
迷の如の事なり菩提なりけととと  
如ハ如と一ハ唯識論ハ愚夫顛  
倒迷之真如故无始來受生死苦聖者



ろ〜と無智れ人の學まなぶまよふ〜世中よ  
 智ち者や小ちるす〜心こころを〜〜の心こころ〜世せい界がいれ  
 法はふ名なととの法はふ性じやう乃なほもも凡ぼん而にととああるるす  
 此こ合あ戰せん状じやう佛ぶつ智ちニにあありり又またよよととああるる  
 事こと〜ああるる終つひ

願ねん以い此こ功く徳とく  
 我が等ら与よ衆しゆ生じやう  
 普ふ及お於お一い切せつ  
 皆みな共い成じやう佛ぶつ道だう

大月如來



不動明王



軍六

五大尊





古畫最可觀者無如所謂重詞類當時事與物皆可以徵矣然其摹本難概得余嘗慨畫家貯之以為粉本故畫於足觀其髣髴若其記文不啻失原本之真或臨寫過半或至缺不錄偶有善本而得之者亦摹寫不堪其繁是以傳播不廣而已京師十念寺所藏佛鬼合戰狀傳稱畫畫兼一休和尚真蹟也惜我今展轉不知落誰手書肆英遵幸得一古家秘藏摹本筆法有度因以刻之庶乎不失其真矣

文政六年癸未八月

筠庭節信識



江戸本石町十軒店萬笈堂英平吉藏板法帖目錄

顏魯公多寶塔碑	尊圓親王百也徃未
趙子昂龍興寺碑	董堂先生和文章
王右軍古千字文	同書札
	同
宋元章春餘帖	同
千法古今序	同
貫之真蹟堤中納言亂集	宋莽先生采雲帖
尊圓親王樂目錄	康熙帝真蹟蘭亭序
尊圓親王古今序	竹沙小品 <small>江戸諸名家寄合書</small>

